

(様式第9)

21医大第17号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学
理事長 菊地 巨一

公立大学法人福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	100.25 人
--------	----------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	303人	145.8人	448.8人	看護業務補助	31人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	3人	6.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	61人
薬剤師	31人	人	31.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5人	その他	人
助産師	34人	人	34.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	674人	4.8人	678.8人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	6人	0.9人	6.9人	栄養士	人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	人	事務職員	64人
管理栄養士	6人	人	6.0人	診療放射線技師	38人	その他の職員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	617.8 人	5.4 人	623.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,522.3 人	30.4 人	1,552.7 人
1日当たり平均調剤数		850.3 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	5人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	4人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	70人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癬痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癬痕その他の重症の癬痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリンーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性なもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	10人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	1人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	1人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	80人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	71人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	24人
・多発性硬化症	39人	・ウエゲナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	59人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	58人
・全身性エリテマトーデス	179人	・多系統萎縮症	11人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人
・再生不良性貧血	46人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	69人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・原発性胆汁性肝硬変	60人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	93人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・特発性大腿骨頭壊死症	39人
・結節性動脈周囲炎	19人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	99人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	22人	・特発性間質性肺炎	28人
・ビュルガー病	8人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	16人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	25人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	28人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	96人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	12人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	66人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 4 回程度実施		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	49 例	剖検率 16.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Pentraxin 3の心不全発症と進展における役割	竹石恭知	循環器内科	2,080千円	補委 科学研究費補助金基盤研究(C)
酸化LDLによる血管内皮機能不全の分子機構解明に関する研究	杉本浩一	循環器内科	2,730千円	補委 科学研究費補助金若手研究(B)
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器内科	300千円	補委 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
虚血性心臓病に対するhigh mobility group protein 1を用いた新しい血管再生療法の開発	竹石恭知	循環器内科	5,000千円	補委 上原記念生命科学財団 研究奨励金
細胞内脂質代謝と心臓リモデリング：ジアシルグリセロールキナーゼによるGq蛋白共役型受容体シグナルの制御	竹石恭知	循環器内科	3,000千円	補委 武田科学振興財団 2008年度報彰基金 研究奨励継続助成
慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群の検索及び治療方法の検討	義久精臣	循環器内科	400千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
正常心および病的心での代謝性冠血流調節機構の解明	金城貴士	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
RAGE (receptor for advanced glycation end products) による動脈硬化巢同定の試み	上北洋徳	循環器内科	490千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
血管内皮機能不全と活性酸素種に対するプラバスタチン静脈内投与の効果とその機序	大河原浩	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
LOX-1 (lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1) を介する単球接着誘導血管内皮細胞機能不全の分子機構解明に関する研究	坂本信雄	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
難治性の肝胆道疾患に関する調査研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 厚生労働省科学研究費
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1,400千円	補委 厚生労働省科学研究費
福島市における特定健診と連携した非アルコール性肝炎(NASH)における特異的マーカー検索と疾患感受性遺伝子多型に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	2,000千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト研究
難治性の膝疾患に関する調査研究	入澤篤史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	260千円	補委 厚生労働省科学研究費
Toll-like receptorを介したサイトメガロウイルス感染による炎症性腸疾患増悪の機序解明	片倉響子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	2,000千円	補委 文部科学省科学研究費
T細胞非依存性の樹状細胞による大腸炎の抑制	阿部和道	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 浜名湖シンポジウム研究助成
CpGDNA投与による肝線維化の制御についての研究	阿部和道	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト研究
カリウム過剰摂取によるインスリン抵抗性改善作用とその作用機序の解明についての研究	佐藤博亮	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	140万円	補委 財団法人ソルト・サイエンス研究財団

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入記すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入記すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入記すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アルドステロン症の心血管合併症と内臓脂肪	緑川早苗	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	100万円	補委 山口内分泌疾患研究振興協会
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とランダム化比較試験	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	50万円	補委 厚生労働科学研究費
今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	3,100万円	補委 厚生労働科学研究費
進行性腎障害に関する調査研究	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	160万円	補委 厚生労働科学研究費
反復経頭蓋磁気刺激法によるヒト大脳皮質可塑性の機序の解明と治療応用に関する基礎的研究	宇川義一	神経内科	90万円	補委 財団法人磁気健康科学研究振興財団
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	宇川義一	神経内科	3,250万円	補委 厚生労働省
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	宇川義一	神経内科	70万円	補委 厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	宇川義一	神経内科	100万円	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	杉浦嘉泰	神経内科	70万円	補委 厚生労働省
リアルタイムヴァーチャル画像補助下気管支鏡検査における硬さセンサーの有効性の研究	石田 卓	呼吸器内科学講座	1,170千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
気管支喘息の診断、治療判定のための簡便な指標としての簡易な気道炎症マーカーの検出-呼吸NO測定オフライン法のかかりつけ医での応用の可能性	齋藤 純平	呼吸器内科学講座	1,000千円	補委 科学研究費補助費
びまん性肺疾患に関する調査研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	800千円	補委 科学研究費補助費
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立およびその有効性と有害事象の評価に関する研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	3,500千円	補委 科学研究費補助費
成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践および評価手法に関する調査研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	1,300千円	補委 環境再生保全機構
呼吸濃縮液中蛋白の網羅的プロテオーム解析による喫煙関連呼吸器疾患の診断ならびに病態解析手法の開発	棟方 充	呼吸器内科学講座	2,550千円	補委 喫煙科学研究財団
細胞周期を標的とした癌の免疫学的制御の試み	鈴木弘行	旧第一外科	1,000千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
若年発症Ⅰ型糖尿病に対する膵島移植-成長と膵島再生の機能連鎖	伊勢一哉	旧第一外科	1,400千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
若年発症Ⅰ型糖尿病に対する膵島移植-ティッシュエンジニアリングの利用	山下方俊	旧第一外科	1,500千円	補委 日本学術振興会 科学研究費

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膵癌の治療抵抗性に関する樹状細胞を中心とした細胞性免疫学的検討	見城 明	旧第一外科	1,500千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
BRMによる樹状細胞の機能修飾を用いた癌治療の試み	星野実加	旧第一外科	2,400千円	補委 文部科学省 科学研究費
探索医療の成果としての膵島移植医療の確立	後藤満一	旧第一外科	8,700千円	補委 厚生労働省 科学研究費
膵島移植の臨床応用	後藤満一	旧第一外科	10,000千円 (19-20 2か年)	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
生体肝移植における抗CD25モノクローナル抗体による免疫抑制の試み	斎藤拓朗	旧第一外科	2,000千円 (20-21 2か年)	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
「乳癌におけるリンパ管新生と乳房リンパ管の3次元病理解析」	安田 満彦	器官制御外科	900千円	補委 科学研究費萌芽研究
「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速」	大竹 徹	器官制御外科	49,921千円	補委 新エネルギー産業 技術総合開発機構 (NEDO)
「DNAトポイソメラーゼ I の転写制御の機序とイリノテカン感受性の検討」	小山 善久	器官制御外科	1,300千円	補委 科学研究費基盤研究C
「サーカディアンリズムを利用した新たな癌放射線療法の確立」	岩館 学	器官制御外科	1,300千円	補委 科学研究費若手研究B
心拍動下手術における3次元デジタル解析システムを用いた手術野固定法の改良	横山 斉	心臓血管外科学講座	1,430千円	補委 独立行政法人日本 学術振興会
虚血性疾患に対する自己骨髄単核球細胞移植における、単核球活性化手法の安全性と有用性検証のための実	高瀬信弥	心臓血管外科学講座	1,000千円	補委 公立大学法人福島県 立医科大学プロジェ クト研究
心拍動下手術における『外科的難易度』決定因子の解明	佐藤善之	心臓血管外科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県 立医科大学プロジェ クト研究
ポストゲノム時代における良性脳腫瘍のエピジェネティクス・バイオマーカーの開発	齋藤 清	脳神経外科	2,000千円	補委 文部科学省科学研 究費
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	1,000千円	補委 厚生労働省科学研 究費
インフルエンザ脳症の病態モデルの作成と、その増悪及び改善因子の検討	細矢 光亮	小児科	1,300千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	細矢 光亮	小児科	1,500千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割と再生促進因子の解明	川崎 幸彦	小児科	1,950千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
SOCS遺伝子抑制によるRSV感染症の新たな治療法確立の検討	橋本 浩一	小児科	780千円	補委 日本学術振興会科 学研究費

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経芽腫臨床試験を基盤とした基礎医学的研究およびトランスレーショナルリサーチ	菊田 敦	小児科	300千円	補委 日本学術振興会科学研究費
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	細矢 光亮	小児科	3,500千円	補委 厚生労働省科学研究費
神経芽腫におけるリスク分類に基づく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	菊田 敦	小児科	600千円	補委 厚生労働省科学研究費
眼内血管新生病変におけるチミジンホスホリラーゼの発現とその阻害剤による治療	飯田知弘	眼科	1,500千円	補委 文部科学省科学研究費
閉塞が徐々に完成する新しいBPHモデルによる閉塞膀胱の病態とそのメカニズムの解明	山口 脩	泌尿器科・副腎内分泌外科	2,600千円	補委 日本学術振興会科学研究費
頭頸部臓器における多層構造再生技術の開発	大森孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,200千円	補委 日本学術振興会科学研究費
膈帯を用いた先天難聴原因検索	小川 洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500千円	補委 日本学術振興会科学研究費
ティッシュエンジニアリングによる気管再生誘導技術の開発	渡邊 睦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100千円	補委 日本学術振興会科学研究費
組織工学的手法を用いた新たな人工気管の開発と気管再生における上皮化機序の解明	多田靖宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,900千円	補委 日本学術振興会科学研究費
脂肪組織由来幹細胞の自家移植による聴覚機能再生	大森孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300千円	補委 日本学術振興会科学研究費
気道領域におけるヒト組織の培養および再生に関する研究	横山秀二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800千円	補委 日本学術振興会科学研究費
脂肪組織由来幹細胞による気管再生治療法の開発	鈴木雪恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100千円	補委 日本学術振興会科学研究費
ティッシュエンジニアリングによる培養気管の開発に関する研究	野本幸男	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,250千円	補委 日本学術振興会科学研究費
術後せん妄の神経化学的研究	村川 雅洋	麻酔・疼痛緩和科	1,430千円	補委 日本学術振興会科学研究費補助金
画像処理を利用した多重免疫染色の実用化	田中 学	病理病態診断学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト研究
				小計 15
				計 69

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Heart Failure Reviews 13 (2), 181-191, 2008	Intervention for apoptosis in cardiomyopathy	矢尾板裕幸	循環器内科
Journal of American Society of Echocardiography 21 (6), 689-696, 2008	Optimal noninvasive assessment of diastolic heart failure in patients with atrial fibrillation: comparison of tissue Doppler	渡部朋幸	循環器内科
Journal of Cardiac Failure 14 (7), 627-628, 2008	Pentosidine and soluble receptor for advanced glycation end-product are important prognostic factors independent of renal	竹石恭知	循環器内科
Circulation Journal 72 (12), 2081-2086, 2008	Attenuation of cardioprotective effect by postconditioning in coronary stenosed rat heart and its restoration by carvedilol	及川雅啓	循環器内科
Frontiers in Bioscience 14, 2553-2558, 2009	Role of Toll-like receptor mediated signaling pathway in ischemic heart	竹石恭知	循環器内科
American Journal of Physiology (Heart and Circulatory Physiology)	Regulation of coronary vascular tone via redox modulation in the α 1-adrenergic-angiotensin-endothelin axis the myocardium	山口 修	循環器内科
International Heart Journal 50 (2), 247-257, 2009	Mast cells contribute to flow restoration by bone marrow cell transplantation in rats with ischemic limbs	田島浩子	循環器内科
心臓 41 (3), 347-351, 2009 (平成21年3月)	チェーンストーク呼吸を合併した拡張相肥大型心筋症に対しadaptive servo ventilationが奏功した1例	義久精臣	循環器内科
日本内科学会雑誌 98 (1), 141-143, 2009	凝固異常・消化器症状を呈したsystemic mastocytosis	小川一英	血液内科
Gastrointest Endosc	Basic technique of FNA	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
World J Gastroenterol	Development of autoimmune hepatitis type 1 after pulsed methylprednisolone therapy for multiple sclerosis: a case report	高橋敦史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Endoscopy	EUS for portal hypertension: a comprehensive and critical appraisal of clinical and experimental indications	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Hepatol Res	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Yonsei Med J	Primary adenocarcinoma of the minor duodenal papilla	若槻 尊	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
JOP	Pancreatic lipoma diagnosed using EUS-FNA. A case report	鈴木 玲	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Gastroenterol Endosc	食道静脈瘤硬化療法における教育プログラムの提案	若槻 尊	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
肝臓	日本人PBC患者におけるFisk Fatigue Severity Score (FFSS)日本語版の妥当性の検証	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
J Clin Hypertens (Greenwich). 2009	Gaps between hypertension treatment guidelines and clinical practice in Japan: Baseline survey results from Fukushima	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Clin Exp Nephrol. 2009 Jun 11.	Prevalence of chronic kidney disease in the Japanese general population.	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Am J Physiol Renal Physiol. 2009 May;296(5):F1052-60.	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates the activation of ERK and NADPH oxidase by mechanical strain in mesangial	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Hypertens Res. 2008 Jul;31(7):1455-64.	Effects of decreased renal cortical expression of G protein-coupled receptor kinase 4 and angiotensin type 1 receptors in	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Clin Exp Nephrol. 2008 Dec;12(6):485-8.	Lupus nephritis with podocytic infolding and intramembranous microstructures.	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Acta Neurol Scand	A case of bilateral parietal cortical laminar necrosis with a loss of vertiginous sensation	Sugiura Y	神経内科
Int Med	Heart rate variability and hypercapnia in Duchenne muscular dystrophy	Mochizuki H	神経内科
Acta Neurol Scand	Paired stimulation study of the median nerve sensory action potential in diabetic patients	Nakatani-Enmoto S	神経内科
Int Med	Metal Retardation and Lifetime Events of Duchenne Muscular Dystrophy in Japan	Mochizuki H	神経内科
Acta Neurol Scand	A Case of bilateral parietal cortical laminar necrosis with a loss of vertiginous sensation	Sugiura Y	神経内科
神経内科	Congenital bilateral perisylvian syndromeの成人軽症例	松田 希	神経内科
臨床神経学	持続性部分てんかん、律動性ミオクローヌスが持続した抗グルタミン酸受容体抗体陽性の自己免疫性脳炎に関して	宇川義一	神経内科
Medical Practice	頸性めまい	望月仁志	神経内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
歩行障害ハンドブック	歩行障害とは	望月仁志	神経内科
Lung Cancer, 2008;60:366	Diagnosis of peripheral pulmonary lesions using a bronchoscope insertion guidance system combined	Ishida T	呼吸器内科学講座
Intern Med, 2008;47:1549	An adult case of plastic bronchitis	Watanabe K	呼吸器内科学講座
Fukushima J Med Sci, 2008; 54:61	Expression of secretoglobin 3A2 (SCGB3A2) in primary pulmonary carcinomas	Tachihara-Yoshikawa M	呼吸器内科学講座
癌と化学療法, 2008;35:1595	上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異が認められた肺多形癌の1例	渡邊香奈	呼吸器内科学講座
日呼吸会誌, 2009;47:23	乳癌放射線治療による二次発癌と考えられた原発性肺癌の3症例	渡邊香奈	呼吸器内科学講座
日呼吸会誌, 2009;47:76	3,4-diaminopyridineが奏功した肺小細胞癌による Lambert-Eaton筋無力症候群の1例	上北久美	呼吸器内科学講座
日臨細誌, 2008;47:337	経皮的CTガイド下肺生検により診断された限局性結節性肺アミロイドーシスの1例	立原素子	呼吸器内科学講座
日臨細誌, 2008;47:381	肺・胸膜に転移したsinonasal teratocarcinomaの1例	立原素子	呼吸器内科学講座
American Journal of Industrial Medicine.2008	Mononuclein lection gene polymorphisms and the development of coal worker's pneumoconiosis in	WANG X	呼吸器内科学講座
Respiratory Medicine 2008;102(10):1452-1459	Clinical usefulness of fractional exhaled nitric oxide for diagnosing prolonged cough	佐藤 俊	呼吸器内科学講座
Cell Transplant.17(6):619-629,2008.	Mitomycin-C treatment followed by culture produces long-term survival of islet xenografts in a rat-to mouse model.	Gunji T	旧第一外科
Dis Esophagus. 21(3),214-9,2008.	Prognostic role of immunosuppressive acidic protein in patients with esophageal cancer.	Kogure M	旧第一外科
Transplant Proc.40(2):449-51,2008	Bone marrow traffic to regenerating islets induced by streptozotocin injection and partial pancreatectomy in mice.	Ohtake K	旧第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg.15(4):444-8,2008.	Successful treatment of pseudoaneurysms of celiac and superior mesenteric arteries by combined endovascular and surgical approach.	Saito T	旧第一外科
Hepatogastroenterology.55:596-9,2008.	Sequential magnetic resonance imaging for evaluation of Kupffer cell function.	Saito T	旧第一外科
J Pediatr Surg.43:583-585,2008	Congenital esophageal stenosis because of tracheobronchial remnant and treated by circular myotomy; case report.	Saito Takahiro	旧第一外科
Fukushima J Med Sci.54(1)111-24,2008.	Traffic of infused bone marrow cells after genetically-labeled syngeneic bone marrow transplantation following lethal irradiation in mice.	Satoh A	旧第一外科
癌の臨床 54:209~214, 2008	下部胆管に発生した膵内分泌細胞癌の1例	遠藤良幸	器官制御外科
福島医学雑誌 58;4:267~272, 2008	難治性腹水を伴う肝硬変症例に対するTIPS の経験	遠藤良幸	器官制御外科
内分泌外科 25;1:18~22, 2008	濾胞腺腫は前癌病変か?	鈴木眞一	器官制御外科
内分泌外科 25;2:81~88, 2008	Multiple endocrine neoplasia type1 (MEN1) 診断・治療から遺伝カウンセリングまで	鈴木眞一	器官制御外科
家族性腫瘍 8;2:44~48, 2008	福島県立医科大学での癌診療における家族性腫瘍の位置付け	鈴木眞一	器官制御外科
内視鏡外科学会雑誌 13;3: 271~281, 2008	内視鏡下の良性甲状腺手術 AAA-ETS について	鈴木眞一	器官制御外科
Modern Physician 28:1057~1062, 2008	【消化器癌 21世紀のサーベイランス】胆道癌とサーベイランス 臨床診断の立場から	小山善久	器官制御外科
日本臨床外科学会雑誌 69: 2770~2773, 2008	外傷性脾損傷を契機に発症した甲状腺クリーゼの1例	岡田 良	器官制御外科
Cancer Res. 68:3193~3203, 2008	Nutlin-3a activates the p53 tumor suppressor to both down-regulate ING2 and up-regulate	Kensuke Kumamoto	器官制御外科
福島医学雑誌58巻3号	福島県における静脈血栓塞栓症の予防の現況-アンケート調査による予防対策の検証-	佐戸川弘之	心臓血管外科学講座
胸部外科第62巻第1号	統合的CABGアルゴリズムによるOPCAB安全性の向上-ラーニングカーブ初期からの戦略と手技-	横山 斉	心臓血管外科学講座
脳卒中の外科 36 (3): 168-174, 2008 (平成20年6月)	後頭骨神経刺激体性感覚誘発電位を用いた前交通動脈瘤・前大脳動脈瘤手術時の術中モニタリング	佐久間潤	脳神経外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neurochir (Suppl) 104: 325-327, 2008 (平成20年7月)	Prevention of symptomatic vasospasm: effect of continuous cisternal irrigation with urokinase and ascorbic acid	児玉南海雄	脳神経外科
Surgical Neurology 70 (2): 122-128, 2008 (平成20年8月)	Glutamine synthetase protects the spinal cord against hypoxia-induced and GABA receptor-activated axonal depressions	松本正人	脳神経外科
脳卒中の外科 36 (6): 427-433, 2008 (平成20年12月)	蛍光脳血管撮影と連続的ドップラー血流検査を用いた脳動脈瘤手術における穿通枝血流不全のモニタリング	鈴木恭一	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 49 (1): 13-21, 2009 (平成21年1月)	Preliminary measurement of intraoperative sympathetic nerve activity using microneurography and laser doppler flowmetry	齋藤 清	脳神経外科
Neurosurgical Review 32 (1): 199-205, 2009 (平成21年1月)	Measurement of optic nerve blood flow during dissection of parasellar tumors	齋藤 清	脳神経外科
脳卒中の外科 37 (2): 79-86, 2009 (平成21年3月)	種々の術中モニタリングを用いた脳動脈瘤術後の虚血合併症の予防	佐々木達也	脳神経外科
脳卒中の外科 36 (suppl): 57-60, 2009 (平成21年3月)	3D-CTを用いたくも膜下血腫定量の試み(第2報):血腫量の実測値と3D-CTによる血腫量の相関	佐藤 拓	脳神経外科
Pediatr. Nephrol.	Renal expression of alpha-smooth muscle actin and c-Met in children with Henoch-Schoenlein purpura nephritis	川崎 幸彦	小児科
Tohoku J. Exp. Med.	IgA nephropathy in a patient with dominant dystrophic epidermolysis bullosa	川崎 幸彦	小児科
Pediatr. Int.	Efficacy of cyclosporine therapy for systemic lupus erythematosus in childhood	川崎 幸彦	小児科
J. Med. Virol.	Functional polymorphism of the promoter region of the prostacyclin synthase gene and severity of RSV infection in	橋本 浩一	小児科
Cornea 27:527-530, 2008.	The possibility of human adenovirus detection from the conjunctiva in asymptomatic cases during nosocomial infection.	金子久俊	眼科
Retina 28:864-869, 2008.	The optical coherence tomography-ophthalmoscope of central serous chorioretinopathy with precipitates.	今 陽子	眼科
Am J Ophthalmol 146:935-941, 2008	Combined intravitreal bevacizumab and photodynamic therapy for retinal angiomatous proliferation.	齋藤昌晃	眼科
Ophthalmology 115:546-552, 2008.	Clinical spectrum of choroidal nevi based on age at presentation in 3422 consecutive eyes.	古田 実	眼科
Retina 28:884-888, 2008	Vitreous seeding from retinal astrocytoma in three cases.	古田 実	眼科
Br J Ophthalmol 92:1488-1491, 2008.	Early morphologic changes and functional abnormalities in group 2A idiopathic juxtafoveal retinal telangiectasis using spectral	丸子一朗	眼科
Br J Ophthalmol 92:1642-1647, 2008.	Photodynamic therapy with verteporfin for age-related macular degeneration or polypoidal choroidal vasculopathy: comparison of	齋藤昌晃	眼科
Jpn J Ophthalmol 52:407-425, 2008	Cytomegalovirus retinitis after intravitreal triamcinolone acetonide in an immunocompetent.	石龍鉄樹	眼科
Ophthalmologica 223:28-31, 2009.	Foveal thickness can predict visual outcome in patients with persistent central serous chorioretinopathy.	古田 実	眼科
Retinal Cases & Brief Reports 3:21-23, 2009.	Arteriolar macroaneurysm on the optic disc associated with branch retinal vein occlusion.	藤原聡之	眼科
Am J Ophthalmol 147:489-494, 2009.	Morphologic changes in the outer layer of the detached retina in rhegmatogenous retinal detachment and central serous	丸子一朗	眼科
Neurourol Urodyn	Obstruction alters muscarinic receptor-coupled PhoA/Rho-kinase pathway in the urinary bladder of the rat.	高橋則雄	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Int J Urol	Critical guidelines for overactive bladder.	山口 脩	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Microbes Infect	Strain-specific seroepidemiology and reinfection of cytomegalovirus.	石橋 啓	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Urology	Effect of long-term oxybutynin administration on c-Fos expression in spinal neurons: inhibition of antimuscarinics on	羽賀宣博	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Int J Urol	A randomized, double-blind, placebo-controlled phase II dose-finding study of the novel anti-muscarinic agent imidafenacin in	山口 脩	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Annals of Otolaryngology & Laryngology	Effect of fibroblasts on epithelial regeneration on the surface of a bioengineered trachea	Yukio Nomoto, et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Annals of Otolaryngology & Laryngology	Regeneration of tracheal epithelium utilizing a novel bipotential collagen scaffold	Yasuhiro Tada, et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Annals of Otolaryngology & Laryngology	Regeneration of the trachea using a bioengineered scaffold with adipose-derived stem cells	Teruhisa Suzuki, et al.	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Otolaryngology, Rhinology & Laryngology	In situ tissue engineering of the cricoid and trachea in a canine model	Koichi Omori, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Annals of Otolaryngology, Rhinology & Laryngology	Clinical application of in situ tissue engineering using a scaffolding technique for reconstruction of the larynx and trachea	Koichi Omori, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Laryngoscope	Sentinel node mapping for node positive oral cancer: Potential to predict multiple metastasis	Takashi Matsuzuka, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	外傷性顔面神経麻痺の画像診断 —マルチスライスCTと3D Accu-i-tomo®による評価—	今泉光雅, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	CRPからみた深頸部膿瘍の遷延化因子	國井美羽, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本耳鼻咽喉科学会会報	胎生期から幼児期における中耳骨間隙: 中耳腔と骨髓腔との交通について	三浦智広, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Otology Japan	急性中耳炎から硬膜外膿瘍をきたした1例	谷 亜希子, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部癌	中咽頭癌に対する超選択的動注化学療法の治療成績	松井隆道, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部外科	鼻腔多形腺腫の1例	谷 亜希子, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻と臨床	気道再建と再生医療	大森孝一, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
General Medicine	Comparison of the perceptoons of city residents and physicians regarding "good death" in a terminal setting in Fykushima, Japan	Izuha A	麻酔・疼痛緩和科
Oral Science International	Nerve growth factor in saliva stimulated by mastication	Kiyomi Komatsu, Hiroshi Hasegawa	歯科口腔外科
J Pharmacol Sci	Inhibitory effects of Isoliquiritigenin and Licorice extract on voltage-dependent K ⁺ currents in H9c2 cells	Noguchi C	集中治療部
麻酔	穿通胎盤合併妊娠の帝王切開において大量出血を来した2症例	埜口 千里	集中治療部
			小計 14
			計 104

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 竹之下誠一
管理担当者氏名	病院経営課 清野隆彦、医事課 本田 隆治

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部	一患者一ファイルに整理し、医療情報にて一括整理している。その他の診療に関する諸記録も患者個人フォルダー等に収納し一括保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	業務毎に簿冊に綴じて分類している。
	高度の医療の提供の実績	〃	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	〃	
	紹介患者に対する医療提供の実績	〃	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	〃	
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療連携相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	〃	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	〃
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	〃
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全使用部会
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	〃
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	〃	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	〃	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 竹之下誠一
閲覧担当者氏名	病院経営課 清野隆彦
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 3階 病院経営課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.5%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		9,719 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,995 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,318 人
	D: 初診の患者の数		23,830 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 医療安全管理部 専任 (4) 名 兼任 (4) 名 感染制御部 専任 (2) 名 兼任 (6) 名活動の主な内容： 医療安全管理部 医療安全推進 感染制御部 院内感染対策	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 1 医療安全に関する基本的な考え方 2 医療安全管理部の設置 3 医療安全管理のための委員会等 4 医療安全管理のための職員研修 5 医療事故報告等に基づく医療安全確保を目的とした改善方策 6 医療事故等発生時の対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 4 9 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 医療事故防止対策委員会 1 2 回 リスクマネージャー会議 1 2 回 医療クオリティ審議委員会 2 5 回	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 6 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 4 月 1 日 医療安全の基礎 4 月 3 日 医療安全の基礎 4 月 25 日 新 RM 研修会 4 月 30 日 医療安全管理初任者研修会 1 医療安全管理の基礎 2 感染管理について 3 インシデントレポートシステムについて 4 医療事故防止マニュアルについて 4 月 18 日 人工呼吸セミナー<初級コース> 5 月 2 日 人工呼吸セミナー<初級コース> 5 月 20 日 メディエーターからの提言 5 月 27 日 ビデオ放映メディエーターからの提言 7 月 18 日 医薬品・医療機器安全管理研修会 1 医療機器の安全使用に関すること 1) 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全使用について	

- 2) 人工呼吸の安全使用について
- 3) 除細動器、AEDの安全使用について
- 2 医薬品の安全使用について
- 3 感染管理院内ラウンドの結果から
- 10月 2日 中心静脈挿入インストラクター研修
- 10月 20日 中途採用・転入者医療安全管理研修会
- 1月 7日 医薬品・医療機器・感染管理・医療安全管理研修会
 - 1 医療機器の安全使用に関すること
 - 2 医薬品の安全使用に関すること
 - 3 感染管理に関すること
 - 4 立入に関すること
- H21.1月 15日 人工呼吸セミナー<中級コース>
- H21.2月 13日 人工呼吸セミナー<中級コース>
- H21.3月 5日 医療安全管理研修会オンラインフォームドコンセントについて
- H21.3月 13日 ビデオ放映「メディエーターからの提言」

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデント評価部会 年12回

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染のための指針の策定状況		①有・無	
<p>(平成19年6月6日 策定、平成20年6月4日改訂)</p> <p>・指針の主な内容：1 感染管理に関する基本的な考え方 2 院内感染管理のための委員会等 3 院内感染管理のための職員研修 4 感染情報等に基づく院内感染管理を目的とした改善方策 5 院内感染発生時等の対応 6 患者等に対する本指針の閲覧 7 その他</p>			
②院内感染対策のための委員会の開催状況		年12回	
<p>平成20年度院内感染対策委員会開催日(毎月第1水曜日定例)</p> <p>平成20年4月2日(水)、平成20年5月7日(水)、平成20年6月4日(水)、 平成20年7月1日(水)、平成20年8月6日(水)、平成20年9月3日(水)、 平成20年10月1日(水)、平成20年11月5日(水)、平成20年12月3日(水)、 平成21年1月7日(月)、平成21年2月4日(水)、平成21年3月4日(水)、</p> <p>・活動の主な内容：毎月の感染症発生状況報告、院内の感染対策事例報告、感染制御部活動計画策定、ICT ラウンド報告、アウトブレイク対応マニュアル改訂、2008年上半期検出菌薬剤感受性報告、針刺し等血液曝露対策マニュアル改訂、カテーテル関連血流感染サーベイランス結果報告、院内感染対策マニュアル「総論」「MRSA」「インフルエンザ」「結核」改訂、HIV感染者対応マニュアル改訂、等</p>			
③従業員に対する院内感染対策のための職員研修の実施状況		年13回	
<p>・研修の主な内容：新規採用者向けオリエンテーション研修は感染予防策の基礎を、職種別研修は業務に合わせた感染予防策を、全職員向け研修は感染症各論やトピックス的内容をと、それぞれのニーズに合わせて研修を計画している。全職員向け研修は、参加できなかった職員向けに、研修のDVDやビデオを貸し出しチェックリストで理解を確認している。</p> <p>その他、要望により所属内の勉強会にも感染管理者が出張して講師を務め、現場単位の研修も実施している。</p> <p>また、主に新採用者を対象にした、E-learningによる感染管理教育も実施している。(平成17年～)</p>			
名称	開催年月日	参加者	内容
臨床研修医 オリエンテーション研修	20年4月1日	卒後臨床研修医 計14名	福島県立医科大学附属病院における院内感染対策の実際(基礎編)
新採用・転入者 オリエンテーション研修	20年4月4日	看護部新採用・転入者 計114名	福島県立医科大学附属病院における院内感染対策の実際(基礎編)
看護部中堅プレ研修	20年4月25日	看護部採用2年目 計47名	血管内カテーテル関連感染防止対策について
安全管理・感染管理 初任者研修会	20年4月30日	看護部を除く新採用・ 転入者 計75名	感染管理について

院内感染対策研修会	20年6月4日	看護師 計267名	感染制御部の役割について
医療安全管理研修会	20年7月18日	全職種 計425名	院内ラウンド結果から
院内感染対策研修会	20年9月18日	研修医等 計50名	抗菌薬適正使用の基礎知識 市中一般病院で見る感染症
医療安全管理研修会	20年11月7日	全職種 計466名	病院職員のための感染予防策再確認講習
中途採用者研修会	20年11月10日	中途採用者・転入者 計20名	福島県立医科大学附属病院における院内感染対策の実際（基礎編）
委託職員研修会	20年10月6日	清掃委託職員他 計36名	病院感染対策
	20年10月8日	清掃委託職員他 計37名	病院感染対策
	20年11月5日	材料部委託職員 計12名	標準予防策と滅菌・消毒・洗浄 スポンジの分類
	20年11月11日	クリーニング委託職員 計9名	リネと感染対策

④感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
 - 耐性菌・抗酸菌・血液培養陽性者は、毎日、微生物検査室から感染制御部を経て主治医とリンクナーズ宛に通知される。
 - 現場からの感染症発生情報は、アウトブレイク対応マニュアルに従って、24時間体制で感染制御部に報告されることになっている。
 - 感染症発生状況は、毎月定例院内感染対策委員会と院内感染対策担当者会議、部長会、副部長・看護師長合同会議で報告される。
 - MRSA 検出状況や院内検出菌の薬剤感受性結果等の情報は、常時、電子カルテ掲示板から閲覧できる。
- ・その他の改善のための方策の主な内容：
 - * 感染制御部は耐性菌・抗酸菌・血液培養陽性者の患者情報を調査・検討し、必要時ラウンドし抗菌薬の使用法等コンサルテーションや隔離予防策の指導等介入を行っている。
 - * 感染経路別予防策の遵守状況を改善するため、隔離室入口にPPEホルダーの設置を行っている。
 - * アルコール製手指消毒剤の使用量アップのため、使用量調査や、採用薬剤の見直しを行った。
 - * インфекションコントロールチーム（ICT）が毎週1回、院内のラウンドを行い、各部署の感染対策上の不備や改善事項を指導し、現場から対策案の提出を行わせている。この際、現場レベルでは解決できないような問題は、院内感染対策委員会に上げて病院として対応を協議している。ラウンドで指導後は、次のラウンド時に必ず前回からの改善状況を確認している、

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：1. インスリン注射のリスクマネジメント 2. 麻薬管理について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容：1. 院内巡視による実施状況の確認と指導 2. ハイリスク薬（不整脈用剤2品目とジギタリス製剤1品目）の追加 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1. ハイリスク薬（不整脈用剤2品目とジギタリス製剤1品目）の追加 2. 救急カートの統一と運用マニュアルの改訂 3. 内用水剤ラベルシールの導入 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液ポンプ、シリンジポンプ ・ 人工呼吸器 (研修 新採用看護師、石井修医、院内看護師等) ・ 除心室研修 ・ 新期導入時研修 ・ MEの石井修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 ((有) 無) ・ 保守点検の主な内容： ・ 医療機器安全管理マニュアルに従って(厚労省の求める)保守点検を行、ている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医療機器に係る情報を集約するための情報を集めるためにも臨床工学センターとして取り立て。 	

主には、医療機器安全管理マニュアル及び実施要領に
(電子カルテ 掲示板の 臨床工学センター 参)